



第25回 日本ホスピス・在宅ケア研究会 全国大会inとかち
プレ自己啓発プログラム（ワークショップ等参加型セミナー）

全国大会前日に下記セミナー（詳細は裏面をご覧ください）を開催いたします。



参加ご希望の方は、お名前、ご連絡先電話番号、所属、職業とご希望セミナー
番号をお書きの上、メール（kobe@hospice.jp）もしくは
fax（078-335-8669）にて、お申込ください。

参加費は当日受付でお支払いとなります。

- ①ディグニティ・セラピーワークショップ
～ディグニティ・セラピーを体感してみよう～
- ②臨床瞑想教室（臨床瞑想法の入門講座）
- ⑤医療・介護に携わる人たちのためのメンタルヘルス（ケアする人のケア）

（③及び④の企画は大会側へのお申込となります）

9月14日（金）

16時～19時

とかちプラザ

（北海道帯広市）

参加費： ¥ 3000



主催 日本ホスピス・在宅ケア研究会事務局

担当：梅垣（078-335-8668）

月・火・木・金（9：30～16：00）



◆9月14日(金) 16:00~19:00 大会前日ワークショップ 有料 3,000円◆

研修室 306

①ディグニティ・セラピーワークショップ ～ディグニティ・セラピーを体感してみましよう～

【講演＆司会】船越 政江 氏 (林山クリニック希望の家、訪問看護ステーションわたぼうし、日本ホスピス在宅ケア研究会 評議員)

【セミナーの内容】講演とワークショップ

【企画の趣旨】

ディグニティーセラピーとは、カナダのチョチノフ博士によって2005年に考案された、人生の最終段階におけるスピリチュアルケアの一つのアプローチです。これまでの人生を振り返り、自分にとって最も大切なことを明らかにしたり、周りの人々に一番覚えていてほしいもの(こと)について話をする機会を提供し、それを物語として完成させるものです。今回の企画では、その方法について実習します。

和室

②臨床瞑想教室(臨床瞑想法の入門講座)

【講演＆司会】大下 大圓 氏 (飛騨千光寺住職、日本スピリチュアルケア学会 理事、日本ホスピス在宅ケア研究会 理事)

【セミナーの内容】臨床瞑想法に関する入門講座

【企画の趣旨】

在宅ケアやホスピスケアに関わる職種の方々には、その現場で様々なストレスを感じながら働いています。特に、人生の最終段階の病状であったり、看取りでは、家族だけでなく、関わる職種も大きなストレスに曝されます。そのような時に、心の安寧を取り戻す方法の一つが瞑想法です。今回の企画は臨床瞑想法のプログラムを自分のお寺で、あるいは全国で実践している大下氏に入門講座として研修を行っていただくものです。

研修室 307

⑤医療・介護に携わる人たちのためのメンタルヘルス(ケアする人のケア)

【講演＆司会】松田 良信 氏 (市立芦屋病院緩和ケア内科 部長) 岡山 幸子 氏 (宝塚市立病院緩和ケア科 看護師長)

私たち医療・介護に携わる者は、クライアントの病状や加齢によるADLの低下に常に向き合い、支えています、また、その家族の悲嘆にも対処しています。ストレスフルな毎日を過ごしている私たちの存在は貴重であり、人手不足もあり、大変大事な仲間です。したがってそのメンタルヘルスは、患者・家族のケア同様に重要事項です。しかし、私たちの上司や同僚も、同じような課題を抱え、しかも多忙であるために職場の仲間を支えていくことが難しい状況です。今までメンタルヘルスに関するさまざまな本が紹介され、講義なども行われていますが、職場で共通の課題として、私たち医療・介護に携わる者が自らのメンタルヘルスについて、語り合い論議するプログラムはあまりありません。このたび、私たちは「医療・介護に携わる人たちのためのメンタルヘルスプログラム」を作成し、職場でも使え、和気あいあいと語り合いながらメンタルヘルスを行う仕様に作成しました。是非、多くの方々に出席して頂きたいと思えます。